

# 認定こども園 みどりがおかようちえん

## 本音で話して、自分ができる・したいことから！

### 保育環境づくりのポイント

～いろんな場面でみんながつながる～

環境整備が3年目となり、たしかに目に見える環境は変わっていくけれど、肝心の職員を取り巻く空気が変わっていないのではないかと、担当者としてはやきもきしながら始まった今年度でした。

私たちは環境整備を通して、何を育てていきたいんだろう…？色々と考えて行きついたのは『つながり＝コミュニケーション』でした。正規職員・パート職員も混ぜてのミーティングをたくさん重ね、全職員にアンケートをとり、みんなで共有していきました。保育環境研究家 木村歩美先生の研修もなるべく全職員が少しでも参加して、いろいろな人の気づきや子どもの育ちを知る機会を作っていた1年間でした。保護者も、子どもも、職員も関心をそれぞれが持ちやすい機会や整備をする日を多く作り、少しずつ歩んできました。

～子どもたちのこの力を育みたい～

- ☑感じる・気付く力
- ☑うごく力
- ☑考える力
- ☑やりぬく力
- ☑人とかがわる力

### 取組み内容

「今、手が空いているんです！」「これが作りたい」と、声が出始め、身近な環境を整えることから関心が深まってきている？

#### 5月 今年度の環境整備 どうしようか？

園長や主任とミーティングをし、今の園の環境や先生たち同士の関係性について振り返った。本音を伝え合った。

担当の自分以外が環境整備に無関心に思えて不安…それなのに、「危ない」、「ルールがないと困る」という声が聞こえてきて、どうしたらいいか困った…せめて、私は前向きでないかと思ひ、自分自身も本音が言えない時期でした。



#### 6月 正職・パート混合チーム結成！

今年は所属や経験年数がバラバラのチームを編成した。改めて、話してみると、“気づきを伝えていいのかな？”、“これってどうなの？って悩みがある！”とそれぞれが感じていたこともあった。所属の垣根を越えて、踏み込んで話す機会を作った。“自分たちで思いを形にしてみよう”と、環境整備に向けて計画開始！



8月 1回目の木村歩美先生の研修  
今まで正規職員中心に参加していたが、所属の垣根なく、まだ研修を受けたことがない先生が参加。研修記録は全職員に配布して、みんなが当事者意識を持てるようにしてみた。



子どもたちがじっくり、ゆったり遊べる空間と道具がないという気づきが出た。そこから、子どもと一緒に整備をしていることに！



立ち上げたのはチームの中のパートの先生！“見えるところを整えていくことで、見えないところを整えていく”の意味が見えてきたような気がした。

10月14日

作って食べて学んで深めようの会 ①  
“みんなで交流する時間を作りたい”という先生たちの思いから、研修や環境整備のための集まりが立ち上がった。“家族も一緒にきていい！”とし、土曜日に、古い切り株を抜いたり、畑のエリアを作ったりした！



設置型遊具の安全基準に問題がない疑惑も！



#### 10月23日 木村歩美先生 ワークショップ

保護者と一緒に“築山の改修”、“園庭のおもちゃ棚”、“机・椅子”を作りました！築山は砂が足りず、完成は1月に。



ワークショップで未完成の棚を保育の合間に作っていると、「私もやります」と言ってくれる人がいて、嬉しかった。

#### 12月5日 木村歩美先生 講演会・研修

保護者・保育者向けに講演会をした。午後からは、これまでの本園の環境整備について振り返る時間を持った。

#### 12月16日 作って食べて学んで深めようの会②

“遊具の下を耕す”、“築山を耕して高さ調整”、“フェンス下の隙間に土のうを設置”など、みんなでメンテナンスをした。この日はうどんを湯がいて食べた！



#### <今回の取組みを通して>

環境を変えてささいな環境整備の意義がみんなで共有していけるのかと思っていたら違った。それぞれの保育経験や保育年数や思いも違い、職員の出入りがある中で、“どうこの環境整備を続けていけばいいの？”、“悩みが出てきた今年度。今では、“日々をみんなで積み重ねていって、こういうことなんだな”と、少しずつ園のみんながコミュニケーションを積み重ねていく楽しさを感じているところです。



担当者 半田 彩佳



「素直な意見を書いてくれているね」、「結構みんな関心を持ってくれている」と、中心メンバー以外の声も聞けて、目に見えない変化を少し感じられた。